

# 第4期市川市地域福祉計画\_進行管理事業 令和元年度進捗状況について

各事業の評価方法（A評価を100点満点とし、以下、B評価75点、C評価50点、D評価25点として配点）※目標達成度は基本目標ごとに点数の合計を満点数で除し、100を乗じて得た割合（小数点以下、四捨五入）  
 A 十分達成できた（75%以上） B 概ね達成できた（50%以上75%未満） C やや不十分だった（25%以上50%未満） D 不十分だった（25%未満）

## 基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちづくり

【目標達成度】		目標達成度は前年度と同じ。成年後見制度の相談件数が約1.3倍増加	
88 (前年度88)			
事業名	評価	評価理由等	
1 地域福祉に関する情報発信	B	組織横断的な「介護予防・健康づくり」のWebページ作成を行った	
2 相談支援体制の整備	B	包括的・総合的な相談支援に関する市の指針は未策定だが、関係課と改善策の協議を実施	
3 成年後見制度利用支援事業	A	相談件数の数値目標1,460に対し3,354件の相談が、PR等の活動回数の数値目標10回に対し17回実施	
4 福祉サービス苦情解決事業	A	千葉県主催の研修に第三者委員が受講（福祉サービス苦情解決事業運営委員会はコロナにより開催中止）	

## 基本目標Ⅱ 参加と交流のまちづくり

【目標達成度】		目標達成度で対前年度▲4ポイントの理由は、「9 避難行動要支援者対策事業」の評価が低かったため	
79 (前年度83)			
事業名	評価	評価理由等	
5 地域ケアシステム推進事業	A	相談事業やサロン活動へ補助金を支給し、拠点整備の活動支援を実施	
6 コミュニティワーカー（生活支援コーディネーター）の配置	B	地域住民への取組について、現状では支援できているが、個別支援に向けた対応に時間を要するため	
7 学校と地域の連携推進	A	学校運営協議会を61校・園に設置し、年平均4.7回協議会を開催した	
8 自治（町）会の加入促進	A	令和2年度の加入世帯数が前年度と比較し、増加したため	
9 避難行動要支援者対策事業	C	避難行動要支援者名簿登録者が前年度比で微減となったため	
10 福祉避難所	B	福祉避難所マニュアルが未策定であるが、新規で民間事業者と災害時支援協定が締結できた	
11 ボランティア・NPO活動に関する情報提供	C	紙媒体での情報提供から、いちかわみんなで支え合いアプリへの情報提供を行ったが、情報提供量が少なかった	

## 基本目標Ⅲ 安全と暮らしのあるまちづくり

【目標達成度】		住宅改修補助対象工事かどうかについて、制度に対する周知が引き続き必要	
100 (前年度100)			
事業名	評価	評価理由等	
12 住宅改修費の助成事業	A	住宅改修の申請目標値1,230件に対し、1,347件の申請実績があった	

## 基本目標Ⅳ 自立と生きがいづくり

【目標達成度】		自立相談支援事業における新規相談受理件数が、前年度比で約1.2倍増加	
100 (前年度100)			
事業名	評価	評価理由等	
13 生活困窮者自立支援	A	自立相談支援事業における新規相談件数目標値460件に対し、601件の相談があった	
14 移動サービスの支援事業	A	福祉有償運送事業者数は前年度と変わらず7団体となり、事業を継続することができた	

## 基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤づくり

【目標達成度】		前年度実績のなかった「16 地域活動の担い手養成研修」において、高齢者生活支援サポートセンター養成研修を2回実施	
91 (前年度78)			
事業名	評価	評価理由等	
15 地域福祉の啓発	B	市川市地域福祉フォーラムを実施し、地域福祉に対する啓発を行った	
16 地域活動の担い手養成研修	A	高齢者生活支援サポーター養成研修受講者目標値100人⇒77人受講	
17 相談員育成の支援	A	各地区の相談員研修で、相談技法をワークショップ形式で学習できた	
18 地域活動応援制度の創設・実施	B	地域活動の提供場所の目標値10施設に対し、5施設を提供した	
19 地域活動拠点の整備	A	公の施設に設置された拠点等及び社会福祉協議会の会議場所を確保した	
20 団地集会所の開放	A	自治会からの申請に対して、すべて使用を許可し、使用料を免除した	
21 地域資源のネットワークづくり	A	地区推進会議に参加し、地域へ情報を共有した	
22 個人情報適正活用支援	B	地区社協、福祉委員向けの個人情報に関するリーフレット作成、Webに掲載したが、配布は翌年度になった	

## 計画全体

